「マリヤの賛歌」（救い主降誕のできごと③）

ルカの福音書１章 39～56 節

先週は、マリヤの人生のできごとを概観し、自分を神に委ねることについて学びました。今日の箇所では、マリヤはザカリヤの妻であるエリサベツのもとを訪ねます。マリヤにとってエリサベツとの交わりは、まさに同じ思いをもって自分を神に委ねる経験をした者同士のかけがえのない交わりであったと思います。

その交わりから、マリヤの賛歌（Mary's song）が生まれます。このマリヤの賛歌は、私たちがクリスマスごとに新たにする信仰の賛美です（新聖歌67）。

①神の恵みは私にもおよんでいる

“マリアは言った。
「私のたましいは主をあがめ、私の霊は私の救い主である神をたたえます。
この卑しいはしために　目を留めてくださったからです。…
主のあわれみは、代々にわたって　主を恐れる者に及びます。” 46-,50

“私たちの主の恵みは、キリスト・イエスにある信仰と愛とともに満ちあふれました。「キリスト・イエスは罪人を救うために世に来られた」ということばは真実であり、そのまま受け入れるに値するものです。私はその罪人のかしらです。” 1 ﾃﾓﾃ 1:14-

“私は使徒の中では最も小さい者であり、神の教会を迫害したのですから、使徒と呼ばれるに値しない者です。ところが、神の恵みによって、私は今の私になりました。そして、私に対するこの神の恵みは無駄にはならず、私はほかのすべての使徒たちよりも多く働きました。働いたのは私ではなく、私とともにあった神の恵みなのですが。”1 ｺﾘﾝﾄ 15:8-

②神は高ぶる者を低くされる

“主はその御腕で力強いわざを行い、心の思いの高ぶる者を追い散らされました。
権力のある者を王位から引き降ろし、低い者を高く引き上げられました。” 51-

“同じように、若い人たちよ、長老たちに従いなさい。みな互いに謙遜を身に着けなさい。
「神は高ぶる者には敵対し、へりくだった者には恵みを与えられる」のです。”1 ﾍﾟﾃﾛ 5:5

③神は飢え渇く者を満たされる

“飢えた者を良いもので満ち足らせ、富む者を何も持たせずに追い返されました。”52

“義に飢え渇く者は幸いです。その人たちは満ち足りるからです。” ﾏﾀｲ 5:6

◎思い巡らしてみましょう

・マリヤは「あなたのおことばどおり」とは言いましたが、現実の歩みの中で「どうして私が」という思いにならなかったのでしょうか。あなたはそういう経験はないでしょうか。